

事務事業名	美術博物館市民ギャラリー活用事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
H29作成課等名	美術博物館	H29係等名	学芸係	事業種別	政策	開始 1 終了		
基本計画上の位置づけ	政策 2	地育力によるこころ豊かな人づくり						
	施策 27	文化芸術の振興						
目的	対象(誰・何を)	1 飯田下伊那広域圏の地域住民(一般市民、高校生、小中学生)。			対象指標	指標名及び単位	28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	市民の文化芸術活動が盛んになる				圏域住民数(人)	160827	
	向上させたい上位施策の成果指標	文化芸術活動に無縁な生活を送っている人の割合(%)						
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	使用する個人・団体数		34	37	40	36	
	成果指標	観覧者数		15000	15560	15000	14808	
定性目標								
事業概要	自然、人文、美術および広く文化芸術に関する創造活動の発表の場として、飯田下伊那地域に住所を有する個人・団体が使用できる。平成26年度から、使用料の徴収を開始している。							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 市民ギャラリーの使用抽選会の実施			1 使用した団体数		1 36団体		
	2 市民ギャラリーの使用(展示、撤収)にかかる準備及び作業のサポート			2 観覧者数		2 14,808人		
	3 市民ギャラリーの展示内容の告知							
	4 展示、撤収の作業							
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①	1,336	1,359	1,202	0	(そ)美術博物館施設使用料			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他	370	104	348					
一般財源	966	1,255	854					
人件費計(千円)②	0	3,436	0	0				
正規職員所要時間		600						
臨時職員所要時間		1,200						
総事業費①+②	1,336	4,795	1,202	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	市民ギャラリーの使用料を平成26年度から徴収することにした。平成28年度は臨時休館日数が増えたために、使用申し込みと観覧者数が減少した。しかし、市民ギャラリーの利用ニーズは高く、市民の創作活動の発表の場としての魅力は損なわれていない。							
改革改善の考え方	①問題点	不特定多数の団体、個人が年間を通じて展覧会場として利用するため、展示壁面が早々に汚れてしまう。						
	②改革提案	何年かに1回の壁紙の張り替えを行う。						